

第4学年の図画工作科では、線彫りによる「木版画」に取り組みます。

今日、4年1組の教室に行きますと、カーボン紙で下絵を写し取った版木の線をマジックペンでなぞり、はっきりとした線にしていました。



版木に描いた下絵の線を

はっきりとした線にする子ども1



版木に描いた下絵の線を

はっきりとした線にする子ども2

木版画のテーマは「魚」。版木に描かれた「魚」は、あえて版木からはみ出るようにすることで迫力ある魚になっていました。

版木にはっきりとした線で下絵を描いた後は、いよいよ彫刻刀で線彫りをしていきます。今日の学習までに、葉書大の板で彫刻刀の使い方は練習していたようですが、改めて、電子黒板で彫刻刀の使い方を復習し版木への線彫りを始めました。



改めて彫刻刀での彫り方安全上の注意を

指導する担任の加藤先生



版木に描いた下絵の線に沿って

線彫りをする子ども1



版木に描いた下絵の線に沿って

線彫りをする子ども2

2学期中に線彫りを仕上げて、3学期に刷り上げるようです。

2021/12/17

第6学年探究学習「自由研究の学習をまとめよう」から

by 宇治田原町立宇治田原小学校
サイト管理者

第6学年では、9月から「総合的な学習の時間」に、子どもたち一人一人が自分のテーマを決めて「自由研究」（探究学習）に取り組んできました。

11月19日（金）に実施しました、京都大学 大野 照文 名誉教授による「子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業」も、「自由研究」の学習の一環として位置づけていました。

今日は、大変お忙しい 大野先生に再びご来校いただき、子どもたちの「自由研究」のまとめを聞いていただき講評していただく授業を行いました。



「自由研究」まとめ発表会の始まり

大野先生には、事前に6年生全員の学習のまとめを送付させていただき、目を通していただいていたいました。

その中から、今日は、6年1組、2組の代表各4名ずつが「自由研究のまとめ」を発表し、他の子どもたちから感想や質問を受ける形で授業を展開しました。発表は、タブレット端末のプレゼンテーションソフトを活用して作成した「自由研究のまとめ」をタブレットのミラーリングという機能を使って電子黒板に投影して行いました。

ある子は、セキセイインコの動作に興味・疑問を持ち、「鳥は、表情筋が硬いので、全身を動かして表現しているのではないか」という予想を立て、その動作意味が何なのかを調べて分かったことを発表しました。



「セキセイインコの動作」の研究発表



「地球はどうして丸いのか」についての研究発表

また、ある子は「どうして地球は丸いのか？」という疑問から「引力」により丸くなったのではないかとという予想を立て、調べて分かったことを発表しました。また、バスケットボールのシュートについて、毎日100本シュートを打つと成功する数は増えるのかという疑問を解決するために実際にシュート実験を行った結果と得た結果らの考えを発表する子もいました。

子どもたちの発表後には、大野先生から講評をいただきました。



子どもたちの自由研究について

講評してくださる大野先生

まず、子どもたちが色々な事に自ら疑問を持ち、それを解決しようと「追究」していることを褒めていただきました。また、「追究」する方法として、インターネットを活用したり、書籍を読んだり、実験をしたり、自ら体験したりしていることも褒めていただきました。そして、「疑問に思っ調べてみると、そこで、新たに疑問が生まれる、そして、それを解決しようと調べると、また、疑問が出てくる」、これが「探究」の楽しさ「魅力」であることを伝えていただきました。また、「疑問」を解決しようと調べる際は、調べて得た情報が正しいのかどうか、立ち止まって吟味することが大切であることを教えていただきました。最後に、これからもさまざまなことに興味を持ち「疑問」を抱くことを大切に学びを続けてほしいという願いを伝えられ授業を終えました。

6年生の子どもたちにとって、11月19日（金）に実施した「子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業」と総合的な学習の時間に取り組んできた「自由研究」の学び、そして今日、再び大野先生ご来校いただき、子どもたちの学び方に講評をいただいたこと、これらは大変貴重な経験であり学びとなりました。

17:07

2021/12/17

第2学年国語科「冬がいっぱい」の学習から

by 宇治田原町立宇治田原小学校サイ
ト管理者

どの学年も、国語科では、それぞれの季節からイメージする「言葉」を使って、文章を書いたり詩を書いたりする学習をします。

昨日、2年1組の教室に行きますと、以下のめあてでタブレットを活用して「詩」を作っていました。

【めあて】「冬のことばで、詩をつくろう」

前時に、教科書に掲載されている唱歌「ゆき」を音読し、それを手がかりに、「冬」について、見たり聞いたりして知っていることや自分の体験から出し合って「冬」のイメージをふくらませました。そして、「冬」を表す言葉を写真のようにタブレットの学習支援ソフトに書き出しました。



ある子がタブレット学習支援ソフトに書き出した

「冬」をイメージした言葉

今日は、まず、学習支援ソフトに書き出した言葉を使って、表現したい冬の「詩」をノートに書きました。



学習支援ソフトに書き出した

冬をイメージする言葉から詩を書く子ども 1



学習支援ソフトに書き出した

冬をイメージする言葉から詩を書く子ども 2

その後、子どもたち一人一人が、自分が書いた「詩」に合った画像をタブレット端末からインターネットで調べ学習支援ソフトに取り込みました。

そして、その写真・イラストの上にノートに書いた自作の「詩」を入力していきました。



インターネットから取り込んだ写真に

作った詩を入力する子ども



インターネットから取り込んだイラストに

作った詩を入力する子ども

子どもたちは、タブレット端末を上手に操作し、自分がイメージした「冬」を、自作の「詩」とその内容に合った画像で一つの作品にしていきました。

16:10

2021/12/16

町「あいさつ運動」と「あいさつでスマイルプロジェクト！！」のコラボ

  | by 宇治田原町立宇治田原小学校サイト管理者

今日は、12月の第3木曜日ということで、児童会の取組「あいさつでスマイルプロジェクト！！」の最終日と宇治田原町「あいさつ運動」の日が重なってコラボレーションすることになりました。

宇治田原町教育委員会からは、奥村教育長、杉浦課長補佐が、また、社会教育委員さんやPTA本部役員生活委員長の 浅田 友美 さんも来てくださり、とてもにぎやかな朝となりました。



登校してくる子どもたち



挨拶を交わす子どもたち 1



挨拶を交わす子どもたち 2

3 小中学校の児童会・生徒会で作成した「絆ソング」が流れる中、児童会本部役員が音頭を取り、児童会本部役員、あいさつリーダーが声を合わせて元気に「おはようございます！！」と声をこかけ、「あいさつでスマイルプロジェクト！！」最終日は、最高の盛り上がりを見せました。

16:29

2021/12/15

第4学年「秋の校外学習」



| by 宇治田原町立宇治田原小学校サイト管理者

昨日は、4 年生が「秋の校外学習」で、琵琶湖博物館を訪れました。

目的は以下のとおりです。

【目的】

- (1) **社会科の学習の一環として琵琶湖博物館での生き物や私たちの暮らしに関する情報を知るとともに、総合的な学習の一環として地球規模での環境問題や身近な環境問題について学習する。**
- (2) **集団行動のきまりを守り、協力して行動する態度を養う。**

寒さが厳しくなってきた 12 月での実施になりましたので、新型コロナウイルス感染防止対策だけでなく、寒さ対策にも気を付けての実施となりました。

琵琶湖博物館内では、グループ毎に、3 年の社会科で学習した「昔の暮らし」に関する展示物を見たり、琵琶湖に生息する生き物を見たり、環境問題に関する展示を見たりして、日頃、学校ではできない学習をすることができました。



館内を見学する子どもたち 1



館内を見学する子どもたち 2



館内を見学する子どもたち 3



館内を見学する子どもたち 4



館内を見学する子どもたち 5

また、おかげさまで、昨日も今日と同様の良い天気でしたので、昼食は、琵琶湖博物館の外ある琵琶湖湖畔の芝生広場で取りました。



お弁当を「いただきます」

昨年度は、どの学年も実施できなかった「秋の校外学習」ですが、今年度は2学期中に全学年（5年生は林間学習、6年は修学旅行）で実施でき無事終了することができました。

「宇治田原小学校に笑顔の花を咲かせよう」というテーマの下、1学期からさまざまな児童会行事を行ってきた児童会本部役員が、人権月間の続きとして以下の目標と内容で今日から3日間「あいさつで スマイルプロジェクト！！」に取り組みます。

【目標】

笑顔第一 ～なかまを思いやる宇治田原小学校～

【内容】

取組期間：12月14日(火)～16日(木)

時 間 帯：朝8時～8時15分

実施方法：児童会本部役員と各クラスで選んだ「あいさつリーダー」2名が通学班で登校してきた後、

正門から校舎にかけて並んで立つ。

特に、児童会本部役員は、「全校のあいさつリーダー」として正門に立つ。

登校してきた子どもたちは、正門であいさつをして「笑顔の花道」を通る。

今日は、「あいさつで スマイルプロジェクト！！」の初日とあって、児童会本部役員も各クラスから選ばれた「あいさつリーダー」も、そして、多くの先生方もこのプロジェクトに参加してくださり、張り切って登校してくる子どもたちを出迎えました。また、その場の雰囲気作りのために、3小中学校の児童会・生徒会で作成した「絆ソング」も流しました。



元気よく挨拶を交わす子どもたち1



元気よく挨拶を交わす子どもたち2



元気よく挨拶を交わす子どもたち3

児童会本部役員と「あいさつリーダー」の元気のよい挨拶に、登校してきた子どもたちもしっかりと挨拶していました。

音楽科では、第1，第2学年で鍵盤ハーモニカの弾き方を学習します。鍵盤ハーモニカでいろいろな曲を演奏するに当たっては、いくつかの指遣いが必要になります。例えば、ドレミファソラシドですと、♪ミ♪を押さえて♪ファ♪の音に移る際に、「ゆびくぐり」といって、♪ミ♪を押さえた右手中指の下に親指をくぐらせて♪ファ♪を押さえるといった具合です。

今日、音楽室では2年2組が鍵盤ハーモニカの指遣いの練習を行っていました。練習していた指遣いは下の写真（鍵盤ハーモニカの練習帳）のように「ゆびひろげ」と「ゆびせばめ」でした。



「ゆびひろげ」「ゆびせばめ」の練習課題



「ゆびひろげ」の練習の様子



「ゆびせばめ」の練習の様子

子どもたちは、ゆっくりと丁寧に何段階もの練習を繰り返す中で、「ゆびひろげ」と「ゆびせばめ」の指遣いを含んだフレーズを正しい指遣いで弾くことができるようになっていきました。